

10
Oct

{ 10月に予定されているセンターのイベント情報や、
その他のお知らせについてご案内します。 }

2012年度漫湖作品コンクール

「漫湖みんなでミュージアム」作品募集!!

今年もいよいよ「漫湖作品コンクール」の季節がやってきます。

「漫湖作品コンクール」は、今年から写真部門が新たに加わり、応募対象も県内に住む幼児～高校生までなら誰でも応募できるようになります。

これまで以上にたくさんの人に親しまれるコンクールを目指し、「漫湖みんなでミュージアム」に名称を変え今年も開催されます。たくさんの個性豊かな作品をお待ちしております。

【応募期間】2012年10月2日(火)～11月25日(日)

【テーマ】私たちの漫湖

※詳しい募集要項については、詳細が決定次第センターホームページにご案内いたしますので、そちらをご確認ください。

※「漫湖みんなでミュージアム」についてのお問い合わせは下記の連絡先までご連絡下さい。

【お問い合わせ】漫湖水鳥・湿地センター ☎098-840-5121

新木道完成記念イベント「泥んこ祭」開催!!

漫湖水鳥・湿地センターで来館者に一番人気のある木道が、湿地の保全とマングローブ管理の為に一部延長になりました。その完成を祝って記念イベントを開催します。

※詳しい内容については、詳細が決定次第センターホームページにご案内いたしますので、そちらをご確認ください。

※当イベントについてのお問い合わせは下記の連絡先までご連絡下さい。

【お問い合わせ】漫湖水鳥・湿地センター ☎098-840-5121

Topic :

{ いきものファインダー
漫湖の風景 - 11 }



木道から見える、シイノキカズラの花。

8月、夏休みの忙しい合間に木道を歩いてみると、咲き終わったメヒルギの花と、それに代わるようにシイノキカズラが花をつけていました。できればきれいに開いた花を写真に残したくてしばらく探してみましたが、この日のシイノキカズラの花は、どれもまだ咲き始めの段階で、花が完全に開ききるにはもう少しかかりそうでした。

シイノキカズラは海岸近くの林に生えるツル性の植物で、漫湖でもメヒルギの幹に絡まるように伸びている姿が木道から見えます。ちょうど8月中旬頃が開花時期になっており、花が咲き終わると面白い形をした実をつけます。

いつも夏の忙しい時期に咲き、気づいた頃にはすでに散っているシイノキカズラの花。今年は見られるといいな。



2012.7/16 ~ 8/31
夏休みスペシャルプログラム：
「漫湖自然学校」

夏休み、漫湖水鳥・湿地センターが一年で最も忙しくなる季節の到来です。

毎年夏休みは“漫湖で自由研究をしよう”を合言葉に、この時期だけのスペシャルプログラム「漫湖自然学校」が開校します。干潟でのカニ観察会や、ガタスキーを使った泥の中の生きもの観察会、水路での魚の観察会などは、一年の中でも夏の間しか体験できない貴重な観察会なので、いつも大人気です。

また今回からは、野外での観察会に加え、じっくり生きものと向き合うための、座学なども交えたこども向け研究室をはじめました。

これまでは、観察会で実際に生きものに触れたり、名前を覚えたりすることはできても、その生きものについてじっくり観察することはなかなかできませんでした。しかし研究室では、顕微鏡や虫眼鏡などを使ってカニの体のつくりを細かく観察する研究や、鳥の翼の仕組みを調

べるために、ニワトリの手羽先を使って骨格標本をつくる研究などを行いました。やっている内容はどれも理科の実験みたいで、子どもだけでなく大人の方もすごく楽しんでいる様子でした。

生きものをじっくり観察し、今まで気がつかなかったことに気づいたり、その生きものの不思議さや面白さについて自分なりに考えるという時間は、生きものの生態を正しく理解するためにはとても大切な時間です。講師としてお招きした先生方もおっしゃっていましたが、今の子どもたちは「じっくりと時間をかけて自分で考える」という経験が少ないように感じられます。しかしもともとは、自由研究にしても子どもたちが自分で立てたテーマに対して、自分なりの考え方を基に自由に研究するものだったはずです。

私たちは「漫湖自然学校」を、子どもたちに自分で発見する喜びと、自分なりに考える楽しさや難しさを伝える良い機会だと考えています。参加した子どもたちに少しでもその思いが伝わっていれば幸いです。それにしても今年は、台風のせいでことごとくイベントが中止になってしまいました…。それだけが残念です。

■ 2012.8/1 — 2012.8/30 { 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 30 種 }

漫湖寄鳥見鳥

漫湖で確認された鳥類一覧

8/24



秋の渡りももうすぐです。

8月も下旬に入ると、少しずつ秋の渡りが感じられるようになります。この時期の渡り鳥は、まだ夏羽姿のもの、換羽中のもなど個体によってもさまざまです。漫湖では8月に飛来数が最も多くなるトウネンをはじめ、ソリハシギなどシギ・チドリ類が賑やかです。この日はオオメダイチドリ(写真)も。私のような初心者にとっては、色々な鳥をたくさん観察して、それぞれの鳥を見比べ識別ポイントを覚えるには今の時期はピッタリです。さあ今年も、バードウォッチングが楽しくなる季節が漫湖にやってきます。

1, ゴイサギ	26, シロガシラ
2, ダイサギ	27, ヒヨドリ
3, チウサギ	28, イノヒヨドリ
4, コサギ	29, メジロ
5, アオサギ	30, ドバト
6, クロツラヘラサギ	31,
7, ミサゴ	32,
8, オオバン	33,
9, シロチドリ	34,
10, オオメダイチドリ	35,
11, ムナグロ	36,
12, ダイゼン	37,
13, キョウジョシギ	38,
14, トウネン	39,
15, エリマキシギ	40,
16, アカアシシギ	41,
17, アオアシシギ	42,
18, キアシシギ	43,
19, イソシギ	44,
20, ソリハシギ	45,
21, チウシャクシギ	46,
22, コアジサシ	47,
23, キジバト	48,
24, カワセミ	49,
25, リュウキュウツバメ	50,

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。